

くすのき

Kusunoki



2014年2月完成に向けて工事中の新体育館

CONTENTS

● Feature Story — 樟蔭中学校・高校 バトントワリング部

「JAPAN CUP 2013」で 優勝しました!!

1

● SHOIN LABO — 「疑問を持ち続けることが新しい発見に」川野 佐江子先生 3

● こもれびの窓 — 「心のこもったおもてなしで、お客様のニーズを引き出す」山澤 直子さん 5

● NEWS — 「十津川村の子どもたちに笑顔を届けました」ほか 7

● Information — イベントのお知らせ 12

● CLUB NAVI — 大学 卓球部 13

● WingBEAT! — 「国費外国人留学生」▲▲▲▲▲▲▲さん 14

● FORUM — 「100周年記念事業がスタートしています」ほか 15

● 平成24年度決算概要報告 17

● リレー★コラム 谷口 宏先生 & STAFF@SHOIN 岡田 麻友子さん 19



はばたけ、知性。



Feature Story

巻頭特集



「JAPAN CUP 2013」で優勝しました!!

樟蔭中学校・高校 バトントワリング部

総勢79名、樟蔭中学校・高校のバトンとポンポンの全4チームで活動するバトントワリング部。今年の夏に東京で開かれた「JAPAN CUP 2013」では3チームが優勝という快挙を成し遂げました。

真夏の努力が結実 『JAPAN CUP』で3チームV

8月30日(金)～9月1日(日)、東京体育館で行われた『JAPAN CUP 2013』。バトントワリングの全国大会にあたる大会で、樟蔭は今までも各チームで上位入賞を果たしてきました。中学校ポンポンチームにはダンス部のメンバーも加わり、共に1つの目標に向かって努力を重ねてきた結果、今年は3チームが優勝、1チームが

2位という成績で圧倒的な強さを見せました。また、9月の大阪府大会でも全チームが金賞という、最高の成績を収めました。クラブを率いる高校の部長・●●●●さん、中学校の部長・▲▲▲▲さんに、試合当日の様子をはじめ、これまでの練習について話してもらいました。



左●●●●さん(高校3年) 右▲▲▲▲さん(中学3年)



JAPAN CUP 2013

■団体の部		■個人の部	
高校ポンポン部門	優勝(第1位)	樟蔭中学校 3年生 ●●●●さん	7位
高校バトントワリング部門	第2位	※大阪樟蔭女子大学 1回生	
ジュニアポンポン部門	優勝(第1位)	●●●●さん	優勝
中学校バトントワリング部門	優勝(第1位)	(樟蔭高校バトントワリング部出身)	



▲▲さん(以下、▲▲)「いつも大会では、円陣を組んで気合いを入れてから演技に臨みますが、今回は特に気合いが入っていましたね。だから優勝した瞬間、すごくうれしかったです。表彰式が終わるまでは公の場なので表情に出せませんでしたが、表彰式が終わってからみんな泣いてしまいました」

●●さん(以下、●●)「今回のJAPAN CUPでは、高校バトンチームは、2位という結果に終わってしまいました。後で、表現においての得点は高かったと聞かされましたが、正直、素直に喜ぶことができませんでした。でも、大阪府大会では4チームとも金賞を受賞することができてうれしかったです」
年間を通じてほとんど休みなく練習があり、7～8月はJAPAN CUPでの優勝を目指して各チームとも練習に励んできました。また、今年は、小阪キャンパス内のリニューアル工事の影響で、従来練習していた体育館での練習ができず、限られた場所での練習となりました。その中でも、彼女たちは、4チームとも同じ条件で練習できるよう練習スケジュールを工夫しながら練習をしてきました。

同じ技を繰り返す練習 みんなにも笑顔になってもらいたい

大会では、技はもちろん全体のコンビネーションや、各メンバーの表現力など、さまざまなポイントが審査の対象になります。全員で動きを合わせるのには至難の業。華やかな舞台上で最高のパフォーマンスを見せるために、練習では同じ技を50回、100回と繰り返し、1回でもミスをしたらまた最初からやり直します。

●●「クラブの卒業生の方々に、選曲や振り付けの指導をしていただいているが、普段は生徒だけで練習しています。しかし、私達には、顧問の先生方をはじめとするたくさんの方々の支えがありました。そのおかげで、ここまで来れたと思います。最初は、各チームともなかなかまとまらず悩みましたが、できる限り自分の思いをメンバーに伝え、意見を聞くようにしました。技やコンビネーションができてくる大会前になると、自然にチームがまとまって、大会には、自然体で臨めました」
▲▲「できなかった技が成功した時や、自分達の演技で感動してもらえたり笑顔になってもらえたりするのがうれしいです」
勉強とクラブ活動を両立させることもバトントワリング部に所属する条件です。そんな中で手にした1位と2位は、クラブはもちろん彼女たちにとっても貴重な勝利だったことでしょう。優勝、おめでとう!



樟蔭中学校 バトンチーム



樟蔭中学校 ポンポンチーム



樟蔭高校 ポンポンチーム



樟蔭高校 バトンチーム

Topics

バトントワリング部 ダンスドリルで全国大会へ!

高校ポンポンチームは10月の「平成25年度関西ダンスドリル秋季大会」(POM部門Large編成)に出場し、初出場ながら見事1位に輝きました。また、Ms. SOLO部門では高校3年の2人が1位と2位を獲得。この勝利により、個人・団体ともに、1月に東京で開かれる全国大会「Dance Drill Winter Cup 2014」への出場が決定しました。さらに、この大会において演技のレベルの高さが認められれば、国際大会に予選なしで出場できる権利が与えられます。今後の活躍にご期待ください。



「服の奥深さを伝えたい」という思いで教員に。 常に疑問を持ち続けることが新しい発見につながります



かわの さえこ
博士(比較文学)
1989年明治大学文学部卒業後、丸善株式会社入社。
服飾アパレル部などでバイヤー、マーチャンダイザー、
売り場マネジャー補佐として勤務した後、立教大学大
学院文学研究科へ。2010年から本校服飾学科に勤
務。男性の装いに関するメディアでの解説も多い。



川野 佐江子 先生

大阪樟蔭女子大学
学芸学部被服学科 准教授
大学院人間科学研究科化粧ファッション学専攻 准教授

長年にわたって紳士アパレルの現場を経験した川野先生の担当授業は「サブカルチャー論」から「身体とジェンダー」「日本の伝統美」まで多岐にわたります。人が化粧をすることや服を着ることに対してさまざまな角度から迫り、装うとは何か、美とは何かについて学生とともに考え続けています。

ことを意識しなければならない存在です。西洋的な美的感覚とは異なりますが、独特の立派な体形でまげを結び、外に出るときは必ず着物姿でなくてはならないなど、普段の生活の中でお相撲さんであり続けなくてはなりません。また、その立ち振る舞いもお相撲さんであることが求められ、お相撲さんとしての『装い』が求められます。研究の過程ですっかり相撲の魅力に引き込まれたという川野先生は、今もさまざまな角度から人々の身体性について研究を続けています。



**大学は自分で「問い」を考える場所
「当たり前」を疑ってみよう**

ジェンダーやフェミニズムなど、女性身体にかかわる研究をする人はたくさんいますが、男性身体についての研究者は圧倒的に少ないといえます。「最近になって男性が美白やおしゃれについて語れるようになってきましたが、一方で『生産性がない男は駄目』とも言われ、男性もつらい思いをしています。また女性も、最近では昔のように差別的な扱いを受けることは少なくなりましたが、何となく居心地の悪さや生きづらさを感じることもあるはず。男性も女性も、お互いにもっと声を上げていいと思います」

「学生も、素直なのはいいことですが、人の言うことをただ鵜呑みにするのではなく、『今この人が言ったことは本当に正しいのかな?』と、少し立ち止まって考えてみてほしいです。大学は、与えられた問いの答えを解くだけでなく、自分で問いを立て、それに対する答えを考えていく場所です。常に『何かおかしいな』と疑問を持ち、それについてどうすればいいのかを考えることで、いろいろな問題を解決する能力が身につくようになります」

「装う」ことは人間の営みそのもの なぜそれを着るのか考えてみよう

授業でも幅広く人間の「身体性」について取り上げています。「学生に『今着ている服は、自分の意思で選んだのですか?』と問いかけると大抵『そうだ』と答えるのですが、本当にそうでしょうか? その日会う人にどういう風に見られたいか、また、その服はT・P・Oに合っているかなど無意識のうちにいろいろな影響を受けて服を選んでいるのです。そういうことを突き詰めて考えていくと、自分自身について、また自分と他者との関係性について新しい発見が生まれます」

川野先生はこのような人と装いとの関係をより深く研究する大学院化粧ファッション学専攻の授業も担当。「化粧やファッションは、美容業界だけでなく、医療や看護など、人と密接にかかわる仕事において注目されてきています。大学院では、そうした現場の経験値が高く、もっと深く勉強したいと思いつつも機会が無かった人たちの要望にこたえたい。人間の営みそのものである『装い』について、アートとしてだけでなく、文化的・歴史的な背景をはじめ、社会学や心理学、哲学などさまざまな方面から学べるようにしていきたいと考えています」



アパレルの現場で知った服飾の面白さ 理論的に服を語るようになるために大学院へ

川野先生は大学卒業後、洋書や輸入物の高級服を扱う会社に就職し、紳士アパレル部門への配属となりました。アパレルは全く未知の世界でしたが、服のディテールにまで気を配るお客さんと、その気持ちに一生懸命応えようとする同僚の姿を見ているうちに「人は誰でも自分の着る服に哲学を持ち、服は人の心と密接にかかわっている」と気づき、服飾の面白さに目覚めていきます。それだけに、世間では「服の販売は誰にでもできる簡単な仕事」と思われていることに対して不満を感じていました。「服の世界の素晴らしさ、奥深さをより多くの人に伝えたい。そのためには自分の感覚だけではなく、理論的に語るようになるなければ」——。このような思いから服飾についてじっくりと専門的に学びたいと考え、12年勤めた会社を退職する決心をして大学院に入学したのです。

プロレスと相撲にみる身体性 自分の身体を「見せる」世界の面白さ

服飾について研究するために大学院に入学しましたが、研究を進めるうちに衣服を着る人間の方に興味に移り、特に男性の「身体性」に深い興味を持つようになりました。「身体性」の研究では、身体を持つ自分自身と他者との関係性がテーマとなります。博士論文ではプロレスラーの身体性についても研究。「プロレスラーは強くて男らしい姿を観客に見せようと極端なまでに体を鍛え上げます。これは、男性が男性らしさを求めてスーツを着用するのと同じで、身体を使った究極の『装い』の形です。また、それぞれに『ヒーロー』や『悪役』、『金持ちのレスラー』といったギミック(キャラクター)が与えられ、自分自身の存在をどこまでも商品化させていく姿が面白く、研究題材として選びました」

その後、同じ格闘技として比較されることが多い相撲力士の研究にも取り組みます。「お相撲さんもレスラーと同様に人に『見られる』

20年間の主婦生活の後、家業の会社を継いで社長に 「心のこもったおもてなし。 お客様のニーズを引き出して」



小阪スイミングクラブ

1981年から約30年、生まれ育った東大阪市を拠点にスポーツ施設やカルチャースクールを運営する会社の社長として活躍された山澤直子さん。社長に就任されるまでは専業主婦でした。お父様の代から続く会社の経営を引き継ぎ、「おもてなしの心」を大切にしながら会社を発展させてこられました。現在も毎日出勤されています。長年にわたって企業のトップを務めた山澤さんは今でも明るく、はつらつとされていて、温かいまなざしで樟蔭生を見守ってくださっています。

教育環境の整っていた樟蔭中学校へ

「厳しかった先生方」

山澤さんの小学生時代は、まだ戦後間もない頃。厳しい経済状況のなか、小学校・中学校の校舎が不足していたため、午前と午後に分けての2部授業が行われていました。地元の公立中学校へ進学しても2部制が続くことがまぬがれないと考えたご両親が、「中学校は学習環境が整っている学校に通わせたい」と、樟蔭中学校へ進学することになりました。

「公立中学校とは異なり、音楽室や化学室、作法室や体育館まで備わっていたのでびっくりしました。各教科それぞれ専門の先生方がいらして教育内容も充実していました。それでも当時の1クラスの人数は約60人と大人数でした。

先生方は、生活態度や礼儀作法にとっても厳しかったです。

高校生といえば生意気になる年代です。特に私たちのクラスは元気のいい人材が多かったですね。

『ディーン室』（現在の樟古館）と呼ばれていた部屋は、生活指導の先生から注意を受ける部屋と噂されていました。常に先生の目が気になった学校生活でした。今考えると、大人になって生活をしていく上で、必要な人との付き合い方などを学んだ気がしています。

現在のように自由な学校生活を満喫できる時代ではなかったように思っています。

夏休みに宿泊を伴う高野山などへの夏期学舎は、生徒たちにとって貴重な楽しい体験だったと思っています。中学校の修学旅行は、夜行列車に揺られ、箱根、日光、東京に行きました。初めての東京は、街の活気と人の多さにびっくりしましたね。東京では自由行動の時間もあって楽しい時間を過ごしました」

思い切って転身

「あいさつが肝心」

山澤さんは、食物学科に進学されましたが、在学中に結婚することになり、3回生の2学期まで通学されました。その後はご主人のお仕事の関係で東京で主婦の生活をされていました。2人のお子様成人された頃にご主人様が亡くなられ、それをきっかけにお父様がはじめられた家業を継ぐことになりました。

「今までの生活環境と全く違った生活。戸惑うことばかりでしたが周囲の方の協力を得てなんとか社業を破綻させることなくやってこられた気がしています」

若い人の持てる力を期待し、スポーツ施設やカルチャースクール等を立ち上げ運営されてきました。現在の姿があるのは社員の皆さんや地域の人たちのお力添えによるものと感謝されています。

2004年からは、息子さんが後を継がれ、会社は一昨年創立50周年を迎えました。

「心のこもったおもてなし」をモットーに、東大阪だけではなく、京都や三重にも、事業を広げられ地域の方々への健康増進・文化力の向上に寄与されています。

「施設や教室に参加いただく方は幼いお子様から高齢の方まで幅広くご利用いただいています。

ご要望や苦言は紙に書かれて出てくるものではありません。お客様や地域の方々は何を求めているのか、普段お客様や地域の方々との何気ないおしゃべりの中から聞き出してくるよう社員の人たちにはお願いをしています。そのためには一番大事なことは『ごあいさつ』。たとえ会釈だけでも、気持ちを込めてごあいさつをするように心がけてほしいと社員たちには伝えています」



樟蔭中学校時代の山澤さん(後列右)



樟蔭生へのメッセージ

「個性を伸ばし、自分を磨きましょう」

山澤さんは現在も大阪キャンパスの近くにお住まいです。常に樟蔭生を見かけられているようです。大きく様変わりした時代を生きる現在の学生たちに激励のメッセージをいただきました。

「現代は男女の差別なくどんなことにも挑戦できる時代になりました。自分自身で生きていけるだけの力が必要です。私が常に若い人についていることに『自分を磨きなさい』『個性を持ちなさい』と！勉強だけでなくスポーツでも社会活動でも若いうちに経験し生涯情熱を注げるものを見つけて欲しいと思っています」



中学校時代の東京修学旅行



スーパーボウル名張

(株)東大阪スタジアム/天正(株)本社ビル

山澤 直子さん

株式会社東大阪スタジアム/天正株式会社 代表取締役会長

大阪府東大阪市出身 1952年3月樟蔭中学校卒業 1955年3月樟蔭高等学校卒業
1955年大阪樟蔭女子大学芸学部食物学科入学、3回生の時に結婚により退学

やまざわなおこ ● 中学校・高校・大学と樟蔭に通う。1981年、スポーツ施設の経営、テナント事業などを行う東大阪スタジアムグループ(HOS)の代表取締役社長に就任。現在は代表取締役会長として活躍。妹さんや従姉妹も樟蔭生。

卒業生の方々のご活躍の様子をお知らせください。
TEL.06-6723-8152 FAX.06-6723-8263

さまざまな分野でご活躍されている卒業生の情報をお寄せいただき、みなさまの力をお借りして、この「こもれびの窓」で幅広い卒業生の姿をお伝えしていきたいと思います。身近でご活躍の卒業生の様子をぜひとも学園広報室までお知らせください。よろしくお願いいたします。

大学・大学院

十津川村の子どもたちに笑顔をお届けしました!

いきいき・キャンパスライフ・プロジェクトのひとつ「グリムプロジェクト2013」が、8月7日(水)・8日(木)の2日間、奈良県十津川村で「グリム絵本村〜絵本の世界へ飛びこもう!in十津川〜」を開催しました。

児童学部の学生を中心としたこの学生プロジェクトは、「絵本」をテーマに地域の子育て支援活動に取



り組んでおり、地域ボランティアの方々と連携して、毎月絵本の読み聞かせなどの活動をしています。今回は、2011年9月に台風12号で大きな被害を受けた奈良県十津川村を訪れ、村内4箇所の保育所の子どもたちに笑顔をお届けするため、絵本をテーマとした3つのプログラムを企画・実践しました。

プログラムの『「グリム絵本村」へようこそ!〜みんなで見つけよう、大好きな絵本〜』では、子どもたちが100冊以上の絵本の中からお気に入りの絵本を探し、学生と一緒に読みました。また、夏祭りをイメージしたプログラムでは、絵本をテーマにした輪投げ、的当て、魚つりなどの他、手遊びやゲームなどでふれあいました。最後に、「寿限無」(じゅげむ)のパネルシアターや



「おおきなかぶ」のオペレッタを上演。劇の途中では子どもたちも参加して、一緒に絵本の世界を楽しみました。

最初子どもたちは、普段あまり接する機会のない大学生のお姉さんたちに少し緊張していたようですが、すぐに打ち解けてみんな笑顔になりました。

学生プロジェクト

学生プロジェクトチームの作品を「キャンドルナイト」に出展しました

今年度の「いきいき・キャンパスライフ・プロジェクト」に採用された「キャンドルナイト」のプロジェクトチームが6月5日(水)、大阪市北区で開かれた「1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY 2013 Summer」に参加し、キャンドルアート作品を出展しました。本学のメンバーはインテリアデザイン学科の学生たち約10名。「YMH〜ユレル・マイチル・ヒロガル〜」というタイトルで、色とりどりのキャンドルを使い、海の中の光を演出しました。



オレンジやピンクのキャンドルは、海面が太陽の光で「キラキラ」光るイメージ、ブルーのキャンドルは、光が海底に射しこみ「ゆらゆら」光るイメージで演出し、とても神秘的な作品となりました。

冬のキャンドルナイトは12月4日(水)と11日(水)に開催され、本学は11日の「茶屋町エリア」に参加する予定です。

学生プロジェクト

学生プロジェクトチーム「KSK10」が、地元商店街で「おいでよ☆ちびっこ」を開催

9月29日(日)、河内小阪商店街の活性化のために活動する「K S K 10」のメンバーが、商店街の中にある子育て支援センター「ましのこクラブ」と共催で、「第4回おいでよ☆ちびっこ」を開催しました。

このイベントは、子どもの集まる商店街プロジェクトの一環として学生が企画・運営を行なっています。絵本の読み聞かせやバルーンアート、お面



づくりなどたくさんの企画を用意し、87名の子どもたちや保護者の方々に楽しんでもらいました。「KSK10」では、このようなプログラムを通して商店街を訪れる人の増加に取り組んでいます。

学生プロジェクト

樟蔭同窓会総会と東京支部総会が開催されました

5月19日(日)、大阪市天王寺区のシェラトン都ホテル大阪で同窓会総会が開かれ、279名の卒業生が参加しました。総会では、役員任期満了に伴う改選が行われ、杉田会長や3名の副会長の就任が正式に決定しました。総会後のパーティーでは樟蔭中学校・高校のダンス部が出演。毎年恒例の福引も行われ、懐かしい友人や先生方との楽しいひとときを過ごしました。

また、6月3日(月)に東京都千代田区の帝国ホテ

ル東京で東京支部総会が開かれ、120名の卒業生が集まりました。今回はハワイアンバンドの演奏があり、同窓生の安永富子さんが、フラダンスで花を添えてくださいました。どちらの総会とも全員で校歌を歌い、翌年の再会を楽しみにしながら終了しました。



東京支部総会



樟蔭同窓会総会

イベント報告

病院で闘う子どもたちを励ます照明作品を展示

箕面市にある「くらしの杜 KJWORKSギャラリー」で、「あかりの紙芝居展」(7/31~9/16)が開催され、被服学科の学生が「照明とデザイン」の授業で制作した作品が展示されました。



この展示会は、授業を担当する橋田裕司先生が主宰する「照明塾」のご協力で実現しました。「照明塾」では、あかりに人々の心を癒やす効果があることに注目し、「ライトセラピー」をテーマとした活動を通して、医療や福祉の現場に貢献されています。

今回の学生たちの作品も、病院で過ごす子どもたちに喜んでもらえることをイメージして制作したもので、それぞれが選んだモチーフを紙芝居風に表現し、温かく夢のある作品に仕上げました。



これらの作品は、その後、千葉東病院でも展示されました。現在はホスピス・こどもホスピス病院(淀川キリスト教病院)に寄贈され、病気で闘う子どもたちを励ましています。

活動報告

子育て支援事業「SHOIN子育てカレッジ」が今年も大盛況!

7月13日(土)・14日(日)の2日間、関屋キャンパスで「SHOIN子育てカレッジ2013」を開催しました。

このイベントは、「絵本」をテーマに地域の子育て支援事業の一環として、児童学部の学生と教員が中心となって企画・運営しています。

イベントの中の「絵本ワールド」では、1000冊以上の絵本をテーマ別に展示し、学生による読み聞かせを行い、多くの絵本を手にとってもらいました。「絵本の世界で遊ぶ〜絵本をテーマにしたワークショップ〜」では、親子で楽しめるようにさまざまな工夫を凝らしワークショップを実践しました。また、「絵本って楽しい!〜絵本の魅力を再発見〜」では、絵本作家による講演会や、インドの紙芝居公演など行いました。



イベント報告

2日間で約1000名もの親子にご来場いただき、会場は大盛況。参加者からは「よく準備されていて熱心さが伝わってきた」「子どもたちがすごく楽しそうだったので参加してよかった」など喜びの声をいただきました。



「学生提案型インターンシップ」から学生のアイデアが商品として実現!!

企業の企画・開発・販売促進セクションと連携し、企業活動の本質を学ぶ「学生提案型インターンシップ」。これは、企業のニーズ・課題に対して、学生が消費者としての視点、女性ならではの視点を活かして提案をまとめ上げていきます。今年も、企業との連携を通して、さまざまな学生のアイデアが商品化されました!

企業との連携。12月1日から1ヶ月間、FORMA全店で販売されます!

(株) エムアンドエムソックス

★「毛玉がでにくい あったかめくめく110デニールタイツ」
寒い季節でもおしゃれを楽しめるよう「欲しい」と思うカラータイツの色や機能性について調査し、その結果を活かして厚手で毛玉がでにくいタイツを考案。色は、ブラック・グレー・ネイビーの3色。「3coins」「ミカヅキモモコ」で販売中です!

(株) 池利

★「梅利セット」
三輪そうめんのお店「千寿亭」で提供されるメニューの開発に取り組みました。豆乳や坦々麺を取り入れたメニューを考案し、事前に大学祭で披露した「担担麺風そうめん」は、やさしい辛さで好評でした。お店では期間限定で提供されています。

(株) 珈和 (チーズケーキ専門店「FORMA」)

★「フランボワーズ・ダンス」
「もらって嬉しいチーズケーキ」をテーマに、定番となるパーソナルギフトを考案。女性が好きな色を意識してバイクドチーズケーキにマスカルポーネのムースと鮮やかなラズベリーソ

報告

く」のシリーズ化として商品化され、本学生協でも販売されています。

サナダ精工(株)

★「レンジでマカロニ」
電子レンジで使える便利な調理器具の開発という課題に、これまで商品化されていなかったマカロニのレンジ調理器を提案。試作品を使って調理して、問題点を改善しながら商品の開発が進められました。茹でるところから冷蔵庫での保存までこれ1つで出来るように工夫されています。100円ショップで販売中です。

コリス(株)

★「チャイティ フェラムネ」
ロングセラー商品「フェラムネ」の新フレーバーの開発とパッケージデザインの提案に取り組みました。「定番過ぎず奇抜すぎないラムネ」という要望が提示され、ラムネ商品の市場調査を行いました。その結果、大人も楽しめる味としてインドのチャイをイメージしたラムネを考案。今後、正式に発売される予定です。

受賞

● 森田園子教授が「労務理論学会学術賞」を受賞

ライフプランニング学科の森田園子教授が、韓国の働く女性について執筆した著書「キャリア・パスの壁を破る」について、きわめて水準の高い研究成果と評価され「労務理論学会学術賞」を受賞されました。



● 高橋晴子教授が感謝状を授与されました

国文学科の高橋晴子教授が、「情報処理学会」「人文科学とコンピューター研究会」の発足と発展に貢献したとして、感謝状を授与されました。

栄養や健康に関するイベントで学生たちが大活躍!

「おおさか食育フェスタ」



大丸心斎橋店で開催された「おおさか食育フェスタ～野菜バリバリ朝食モリモリ2013～」(8/7)において、公衆栄養学研究室の学生たちが体験型食育ブースに出展しました。テーマを「スポーツと栄養管理」とし、食品と栄養素の関係や、一日に必要な水分、スポーツする前の朝食の大切さなどをクイズ形式で説明しました。大学で学んだ食と栄養の知識を来場したさまざまな世代の人に伝えることができ、栄養士や管理栄養士を目指す学生たちにとって大きな自信になりました。

「リレー・フォー・ライフ大阪 in 大手前」

10月12日(土)、13日(日)の2日間、大阪府立大手前高校で開催されたがん患者支援チャリティーイベントに、栄養教育研究室の学生がチーム「パベットSHOIN」として参加しました。当日は子ども向けに、「野菜をたくさん食べよう」という趣旨で考えた物語「ミートくんとトマトちゃんの冒険」のパベット実演を行いました。リレーウォークや他のチームの活動にも参加し、さまざまな人と接することで「いのち」や「人のつながり」など多くのことを学びました。



阪南市の「健康増進セミナー」



病態栄養学研究室と臨床栄養学第1研究室の学生がに阪南市で開かれた「健康増進セミナー」(11/4)に参加し、地域の方々の体力測定(ロコモ度テスト)や栄養相談を行いました。このイベントは、阪南市舞地区の福祉委員会が主催するもので、毎年開催されています。学生たちは、参加者の生活習慣や食生活、持病に対する悩みなどに耳を傾けながら、少しでも解決できるようにそれぞれの方にあったアドバイスをしました。

それぞれのキャンパスで大学祭が開催されました!!

●若樟祭(10/19～20: 関屋キャンパス)

各ゼミやクラブの模擬店の他、イベントでは「袴プリンセスコンテスト」、「プリンスコンテスト」も実施。軽音楽部やダンス部のステージもあり、会場を盛り上げました。また、20日は学生プロジェクト「YJ(ヤング



ジャパニーズ)の学生と子どもたちによるダンスのショーも披露されました。この日のために学生たちは、子どもたちと一緒に歌とダンスのワークショップを行い、何度も練習を重ねてきました。雨天のため、場所は変更されましたが、学生も子どもたちも迫力の演技を披露してくれました。

●くすのき祭(10/26～27: 小阪キャンパス)

事前に台風の影響が心配されましたが、無事予定通り開催されました。屋台には定番メニューの他にもイングリッシュマフィン、チゲスープなど国際色豊かなメニューが並び、好評を博しました。また、来場者



が参加できる抽選会やビンゴ大会、インディーズバンドの演奏、恒例の「ファッションショー」や「袴コンテスト」など、来場した多くの人を楽しんでいただけた2日間となりました。

第14回 大阪国際音楽コンクールで3名が受賞!

10月5日(土)～14日(月・祝)に開催された「第14回大阪国際音楽コンクール」アマチュア部門・シニアコースに出場した児童学科の学生3名が受賞しました。

受賞者

◆アマチュア部門<シニアコース>

- 4位:児童学科2回生 ●●●●(ピアノ)
- 児童学科2回生 ●●●●(ピアノ)
- 5位:児童学科2回生 ●●●●(ピアノ)

BOOK info.

書籍紹介

大学 健康栄養学科
石蔵文信教授 著

「がんばるほどうライ『下痢』という病」
(全192頁/2013.7.4.静山社)

下痢の大半は、原因不明だがストレスとの関係は有名。「たかが下痢」でも、引きこもりやうつ病など、人生を左右することもあります。諦める前に、本書で腸の悩みをスッキリ解消します。



大学 健康栄養学科
石蔵文信教授 著

「57歳からの意識改革
—人生を最後まで充実させるために—」
(全192頁/2013.10.2.双葉社)

定年後、うつ病や妻との関係が悪くなる男性が多い。そうならないために、定年前の57歳位から自己の意識を改革し、人生を充実させる準備方法を分かりやすく書いた一冊となっています。

大学 児童学科 菅正隆教授 著

「授業に役立つ!小学生の「英語」日めくり」
(全31頁/2013.8.株式会社PHP研究所)

小学校4～6年生を対象とし、授業や日常会話でよく使う英語表現87、単語157を厳選し、実際の発音に近い表記をイラスト付きで紹介。繰り返し見て覚える日めくり形式で学習効果も倍増します!



中学校・高校

新体操部がシンガポール遠征で優勝しました



7月3日(水)～9日(火)にシンガポールで開催された「第10回シンガポール・オープン新体操選手権大会」に、中学2年生組の3名が出場し、見事優勝しました。

参加したのは、東南アジアの国々やニュージーランド、グルジア、台湾など7カ国の9チームで海外の選手の表情豊かな演技も素晴らしい中、新体操部の部員たちも練習の成果を存分に発揮し、優勝という輝かしい成果を挙げました。

また、大阪予選の個人種目で6位入賞と優秀選手賞を獲得し●●●●さん(中学2年生組)が、8月31日～9月1日に開催された近畿大会「第20回近畿ジュニア新体操選手権大会」に出場。強豪がひしめく大阪で近畿大会に出場するのは難しく、樟蔭中学校では実に10年ぶりで3人目となりました。そして高校新体操部では他にも、「第68回大阪府民



活動報告



体育大会 国民体育大会大阪府予選会(6/2)」「第67回近畿高等学校新体操選手権大会(6/22-23)」出場で好成績を収めています。より一層の今後の活躍を期待しています。

★高校 児童教育コース

大学幼稚園で実習を行いました

7月に、大学附属幼稚園での一日体験学習を行いました。2年生は野菜の収穫、3年生は園庭補助を担当。はじめは緊張している様子の生徒たちも、積極的に園児に声をかける姿がみられました。園児たちが帰った後も、幼稚園の先生の指導の下、教材の準備などを手伝いました。

また、8月には、幼稚園での「タベの集い」(緑日)が行われ、児童教育コースの全学年の生徒がスタッフとして参加し、ちょうちんを吊るしたり、のぼりを立てるなど出店準備のお手伝いを行いました。本番は2年生が中心となり、くじ引きや輪投げなど8つのお店を担当し、3年生は金魚すくいともぐらたたきを担当しました。1年生はサポート役として、お手伝いし、園児達の喜ぶ顔を見て、生徒たちも充実感を味わっていました。



活動報告

★高校 健康栄養コース

プロのシェフにフランス料理を学びました

7月22日(月)、3年夏組では特別講座「フランス料理～基礎編～」を実施しました。ご指導いただいたのは、真面にあるフランス料理店「Franc et elegant」のオーナーシェフ・浮田浩明さん。メニューは、コーンのパンケーキ(ベーコン・トマトサンド)、子牛のピカタ(粒マスタードハーブの香り)、ふわふわスフレ(クラシックスタイル)の3種類。どの班も上手に完成させることができました。また、シェフ自らお肉を焼いたり、盛り付けをさせていただいたり、プロの技を間近で見ることができ、とても勉強になりました。



活動報告

★中学 身体表現コース

4つの夏期特別講座を受講しました!

●テーピング講習会

7月23日(火)、全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会認定のトレーナーで、SOCIO conditioning 代表の白石泰章さんに、テーピングの意義と効果、種類などについて教えていただきました。教わったのは、つつたり、ねんざの防止など3種類の方法で、実際に友達の方にテーピングをして先生にチェックしていただくなど、今後に生かせる有意義な講習会となりました。



●パントマイム講習会&パフォーマンス「ギア」を観劇

7月24日(水)、パフォーマンス「ギア」に出演されているパントマイマー谷啓吾さんに、言葉を使わずに

ダンスやマイムでパフォーマンスを行うパントマイムを教えていただきました。パントマイムを体験した後、7月26日(金)、京都三条にあるART COMPLEX1928 までパフォーマンス「ギア」を観にいきました。とても素敵な舞台で、生徒たちは終わった瞬間に「もう1回見たい!」との声が上がりました。出演者とも写真を撮らせていただき素敵な思い出になりました。



●宝塚歌劇団公演観劇

8月20日(火)、宝塚歌劇団の花組公演「愛と革命の詩(うた)ーアンドレア・シェニエー」と「Mr.Swing!」

を観劇しました。観劇に先立って学校内で樟蔭出身の元タカラジェンヌ、妃乃あんじさんによる事前学習が行われ、生徒たちは、DVD映像の華やかな舞台を観ただけでもわくわくしていました。実際に宝塚大劇場で観たプロの演技は、本当に迫力があって素晴らしく、終演後は大劇場の入り口階段でポーズを取って記念撮影しました。



活動報告

若葉祭が開催されました!

9月18日(水)、高校体育祭と中学校全学レクリエーションが行われました。高校体育祭の総合優勝は1年秋組、2年花組、3年春組。3年生の創作ダンス「青春の躍動」では、月組が優勝しました。中学校では、3年前から始まった、全クラスの最速を決める「クラス対抗樟蔭リレー」が行われ、今年は2年桜組が1分55秒07で1位となるなど、みんなで練習の成果を發揮しました。



イベント報告



9月28日(土)、29日(日)は中学校高校合同の文化祭が開かれ、1日目は中学1年生全員での詩の朗読や各クラブの舞台発表があり、2日目は生徒の家族などにもご来場いただき、教室展示や舞台発表、ライブ演奏、PTAのバザーなどで賑わっていました。



報告

高校バスケットボール部の部旗をOGが寄贈。

高校バスケットボール部の歴史は60年以上。試合の時は部旗を必ずコートに掲げて臨みます。その伝統の旗が老朽化してきたので、8月にOG会からの寄贈で新調しました。「和こそ力なり 大阪樟蔭籠球部」という文字はそのままで、学園カラーの深緑色も鮮やかに蘇り新しくなった部旗。これからも伝統のクラブを見守っていきましょう。



フランス人留学生●●●さん 放送部で活躍中!

今年4月から、フランス人留学生の●●●さんが高校2年春組で勉強しています。●●●さんはアジアが大好きで、特に日本文化が好きなおことから来日。母国語の他、英語やスペイン語など4カ国を話すことができます。日本語は、国際英語学科の大学生から教わっています。最初は難しく感じていたようですが、だんだん上手に話せるようになってきました。高原学舎や文化祭、体育祭

などにも参加し、「毎日楽しくて充実している」と話してくれました。また、「話すことが大好き」という●●●さんは、放送部に入部。毎週木曜日のお昼休みには「留学生●●●によるフランス紹介」を放送し、フランスの文化やスポーツ、食べ物などを紹介しています。滞在は来年の2月まで。帰国するまでに樟蔭での生活をますます楽しんでほしいです。



報告



幼稚園

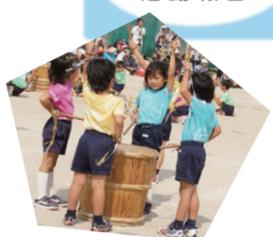
元気いっぱい運動会を楽しみました!

10月12日(土)、快晴の中、幼稚園の運動会が行われました。年少組の子どもたちにとっては初めての運動会ですが、「かけっこ!」では「元気いっぱいに走りました。年中組は「あいうえおんがく」のダンスや「かけっこ」、年長組は綱引きやリレー、太鼓などのプログラムを生き生きとした姿で元気いっぱい行いました。また、親子での玉入れやおじい



ちゃん・おばあちゃんとの「ふれあいダンス」もあり、家族みんなで楽しい一日を過ごしました。

活動報告



関屋キャンパスへ遠足に行きました

10月24日(木)、大学の関屋キャンパスへ遠足に行きました。前日から雨模様で、どんよりした曇り空の下、年長組の

キャンパスに向けて出発。でも到着したら、幸運にも晴れ間がのぞき児童学部のお姉さん先生と一緒に、「だるまさんがころんだ」や「鬼ごっこ」をして、広い芝生で思いっきり体を動かして遊びました。また、お弁当と一緒に食べたり、手作りのお土産をもらったり、お姉さん先生にいっぱい甘えて、思い出に残る楽しい遠足となりました。

活動報告

Information

第7回 英語落語発表会

今年も生き生きとした学生による英語落語の発表と、大学の非常勤講師であるプロの落語家 桂かい枝師、桂あさ吉師、そしてゲストによる英語落語をお楽しみいただけます。
日 時:2014年2月18日(火) 13:00~15:30
場 所:小阪キャンパス 円形ホール
入場料:無料
お申し込み締切:2014年2月11日(火)(先着順)
お申し込み方法:本学ホームページまたはハガキ・FAXにて①「英語落語」観覧希望 ②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号を必ずご記入の上、下記までお申し込みください。
お問い合わせ:〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 大阪樟蔭女子大学 国際英語学科事務センター
TEL:06-6723-8316 FAX:06-6723-8348 URL:http://www.osaka-shoin.ac.jp



卒業制作展・卒業論文発表会

下記日程で行いますので、ぜひご覧ください。
被服学科(被服学専攻・化粧品専攻)卒業制作展・卒業論文発表会
◆卒業制作展
日 時:2014年1月21日(火)~27日(月) 10:00~16:00
場 所:小阪キャンパス 記念館2F(281教室)
◆卒業論文発表会
日 時:2014年1月28日(火)・29日(水) 9:00~17:00
場 所:小阪キャンパス 円形ホール
※詳細はFIC(ファッション・インフォメーション・センター、06-6723-8227)までお問い合わせください。



インテリアデザイン学科 卒業制作展

◆卒業制作展
日 時:2014年1月21日(火)~27日(月) 10:00~16:00
場 所:小阪キャンパス インテリアデザインラボラトリー(記念館1F)
国文学科 書道コース生による「卒業書作展」
日 時:2014年2月8日(土)~12日(水) 10:00~17:00
場 所:小阪キャンパス 記念館2F(281教室)



学士課程教育センター主催 日比浩一・鈴木華重子コンサート

「ホンモノに触れよう!」をテーマに、国内外で活躍するプロの演奏家によるクラシック音楽を提供します。
日 時:2014年3月8日(土) 14:00~15:30
場 所:関屋キャンパス
受講料:1人500円(当日支払制)
定員:120名(先着順)
お申し込み締め切り:2014年2月20日(木)必着
お申し込み方法:本学ホームページまたはメール・FAXにて①「コンサート」観覧希望②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号を必ずご記入の上、下記までお申し込みください。
お問い合わせ:関屋キャンパス 学士課程教育事務センター
TEL:0745-71-3156 FAX:0745-71-3146
E-mail:kyotan-ken@osaka-shoin.ac.jp URL:http://www.osaka-shoin.ac.jp



第13回 心の相談コロキアム

テーマ:「発達障害のある子どもへの支援のあり方と臨床心理学との連携を考える」
日 時:2014年2月1日(土) 13:00~16:00
場 所:関屋キャンパス
講 師:田川 元康氏(本学 心理学部教授)、須田 正信氏(本学 非常勤講師)
対 象:一般及び学生
受講料:1人500円(当日支払制)
定 員:200名(先着順)
お申し込み締め切り:2014年1月22日(水)必着
お申し込み方法:本学ホームページまたはメール・FAXにて①住所 ②氏名(ふりがな)③年齢 ④性別 ⑤電話番号 ⑥参加希望講座名を必ずご記入の上、下記までお申し込みください。
お問い合わせ:関屋キャンパス カウンセリングセンター
TEL:0745-71-3150 FAX:0745-71-3140
E-mail:counseling-center@osaka-shoin.ac.jp URL:http://www.osaka-shoin.ac.jp
※詳細はHP等をご確認ください。

大学

卓球部



今年9月の秋季関西学生リーグ戦で数年ぶりに1部リーグに昇格し、他の強豪校と肩を並べた卓球部。部長の●●●さん(ビジネス心理学科4回生)、副部長の▲▲▲▲さん(児童学科3回生)にインタビューしました。

卓球部は、毎月のように開かれる各種大会に向け、関屋キャンパス体育館で日々練習に励んでいます。全7名(取材当時)の部員には経験者も多く、少数精鋭です。他大学との試合だけでなく地元の大会にも参加し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々とも対戦しています。

Q 普段はどんな練習をしていますか?

A ●●●さん&▲▲▲さん(以下、●●●、▲▲▲) ストレッチや基礎練習をしてから、苦手を克服するための「課題練習」、一人が球を出し続けて打



つ「多球練習」などを行っています。秋季リーグ戦の前は、普段の練習に加え、作ったのが落ちるまで球を打ち続ける練習もしました。みんないつもより遅くまで残って自主練習をしていたので、その積み重ねで勝てたのかなと思います。当初の目標は2部リーグ残留だったので、1部リーグに昇格できたのは予想外で嬉しかったです。

Q クラブの雰囲気は?

A ●●● 他大学のチームと比べて一番仲がいいと思います。試合の時はいつも、お互いに喉が乾くくらい応援しています。休日でも、みんなでたこ焼きパーティーをしたり、一緒にご飯を食べに行ったり、私が入部した時から先輩方もフレンドリーでした。▲▲▲ 負けられない試合に臨んでも、仲間の応援があると緊張がほぐれます。私たちのモットーは「明るく楽しく」です。

Q 卓球はいつ始めましたか? また、得意技などを教えてください。

A ●●● 中学で始めましたが、本格的に始め

たのは高校からです。好きな技は「バックブロック」(相手の球の回転を利用して打ち返す技)。この技を使つてのラリーが楽しいです。▲▲▲ 私は小学校から始めました。左利きなので、右利きの人の体の外側にボールが逃げる「シュートドライブ」が得意です。

Q 今後の目標は?

A ●●●&▲▲▲ クラブとしての目標は、来年のインカレ予選に通過することです。また、関西学生リーグでは1部で最下位になるとまた2部に落ちてしまうので、なんとか残れるように頑張りたいです。▲▲▲ 個人的には、来年の関西学生選手権でベスト16に入ることが目標です。●●● 私はもう卒業ですが、社会人になっても地域のオープン戦に出たりして、楽しみながら卓球を続けていきたいです。

厳しい試合を勝ち抜いたとは思えないほど、和やかな雰囲気の2人。卓球部の楽しさ・温かさが伝わってきました。



左から ●●●さんと▲▲▲さん

クラブ活動報告

中学校・高等学校

■バトントウリング部

JAPAN CUP2013(8/30、31)

- ◆優勝 中学校ボンボンチーム
- ◆優勝 中学校バトンチーム
- ◆優勝 高校ボンボンチーム
- ◆第2位 高校バトンチーム

第23回バトントウリング大阪府大会(9/16)

- ◆金賞 中学校・高校ボンボンチーム/中学校・高校バトンチーム
- ※全チームが金賞受賞!

※6月16日ウエスタンリーグ公式戦「オリックス・バファローズ対ソフトバンクホークス」のオープニングに、バトン部ボンボンチーム・ダンス部有志との連合チームで出演しました!

■新体操部

<中学校>

シンガポール国際大会(7/3~9)

- ◆優勝 チーム樟蔭
- 【●●●(中2年校組) ●●●(中2年校組) ●●●(中2年校組)】

第7回大阪市体育協会会長杯 新体操ジュニア選手権大会(7/23)

- ◆個人の部総合 6位 ●●●(中2年校組)
- ◆団体の部 2位 樟蔭中学校

第20回近畿ジュニア新体操選手権大会(8/31~9/1)

- ◆個人の部 17位 ●●●(中2年校組)

<高校>

第68回大阪府民体育大会 国民体育大会大阪府予選大会(6/2)

- ◆団体の部 3位
- ◆第67回近畿高等学校新体操選手権大会(6/22~23)
- ◆団体の部 9位

■ソフトテニス部

<中学校>

第47回東大阪府中学校総合体育大会

- ◆個人の部 3位 ●●●(中2年校組) ●●●(中1年校組)

<高校>

大阪高校総合体育大会第6ブロック予選(7/24)

- ◆準優勝 ●●●(高2年校組) ●●●(高2年校組)
- ◆第5位 ●●●(高3年校組) ●●●(高3年校組)
- (高2年校組) ●●●(高1年校組)
- (高2年校組) ●●●(高2年校組)

大阪私立高等学校総合体育大会(8/14)

- ◆個人戦 ベスト16 ●●●(高2年校組) ●●●(高2年校組)

東大阪府高等学校ソフトテニス大会(8/19)

- ◆団体戦 第3位 樟蔭中学校
- 大阪高校新人大会 第6ブロック予選(9/15、9/23)
- ◆準優勝 ●●●(高2年校組) ●●●(高2年校組)
- ◆第5位 ●●●(高2年校組) ●●●(高1年校組)
- (高2年校組) ●●●(高2年校組)

■バスケットボール部

<中学校>

サマーカップ2013(8/11)

- ◆準優勝 ●●●(中3年校組)
- ◆優秀選手賞 ●●●(中3年校組)

<高校>

第68回大阪府高等学校総合体育大会バスケットボール大会

- ◆ブロック決勝進出!

■美術部

<中学校>

第62回大阪府学芸展(7/23~7/28)

- ◆優秀賞 ●●●(中3年校組)
- ◆奨励賞 ●●●(中2年校組)

<高校>

第62回大阪府学芸展(7/23~7/28)

- ◆優秀賞 ●●●(高2年校組) ●●●(高3年校組)

※試合当時の学年で表記しています

- ◆奨励賞 ●●●(高1年校組) ●●●(高1年校組)
- (高2年校組) ●●●(高3年校組)
- (高3年校組)

版画部門

- ◆優秀賞 ●●●(高2年校組) ●●●(高3年校組)
- (高3年校組)

デザイン部門

- ◆優秀賞 ●●●(高2年校組) ●●●(高3年校組)
- (高3年校組)

イラスト部門

- ◆奨励賞 ●●●(高2年校組)
- ◆優秀賞 ●●●(高2年校組) ●●●(高3年校組)
- ◆奨励賞 ●●●(高2年校組) ●●●(高2年校組)
- (高2年校組)

◆来年度、芸文祭ポスター制作 ●●●(高2年校組)

第37回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門(7/31~8/4)

- ◆文化連盟賞 ●●●(高3年校組)

第27回大阪府学芸文化祭典(10/5、6)

- ◆ポスター・チラシ・チャケット原画制作 ●●●(高3年校組)
- ◆作品展示 ●●●(高2年校組)

■工芸部

<高校>

第62回大阪府学芸展(7/23~7/28)

- ◆奨励賞 ●●●(高3年校組) ●●●(高3年校組)
- (高2年校組) ●●●(高1年校組)

大学

■卓球部

秋季関西学生リーグ戦(8/29~9/6)

- ◆2部校 優勝/1部校 昇格
- ◆2部校敢闘賞 ●●●(児童学科)

WingBEAT!

~はばたくSHOIN GIRL~

樟蔭で過ごした1年間を胸に、再び日本に来ることを決意

日本語・日本文化研修留学生として本学で学んだ

○○○・○○○さん

▲▲▲・▲▲▲さん

2012年9月末にスロベニアとカザフスタンから来日し、国費外国人留学生(日本語・日本文化研修留学生)として本学で学んだ●●●・●●●さんと▲▲▲・▲▲▲さん。2人とも子どもの頃に触れた日本の漫画やアニメがきっかけで日本文化や言葉に興味を持ち、母国の大学で日本語を勉強しています。帰国を前に、充実していた毎日のこと、一層好きになった日本への思いを流暢な日本語で話してくれました。

苦勞して乗り越えた研究発表会

日本に来るのは全く初めてという▲▲▲さんと、高校生の時に短期留学の経験がある●●●さん。1年間、留学生用の特別授業で、日本語はもちろん、近代日本の女性の生き方を通して日本の伝統文化・生活文化を広く学びました。また、在 student と一緒に日本語による講義も受講しました。ファッションやメイク、デザインなどにも興味を持っていた2人は、樟蔭の被服学科ではファッションについて総合的に勉強できることを知り、本学への留学を決めました。特に『被服構成学』の実習では、ミシンを使って自分で服を作れるようになったことが大きな収穫だったようです。●●●さんは「お母さんから『帰ってきたらスカートとジャケットを作ってね』と言われていました」とうれしそうです。

7月には1年間の総まとめとして研究発表会が開かれ、●●●さんは日本人女性の「美白」に対する意識について、▲▲▲さんは日本人の「若者言葉」について、それぞれアンケート調査をもとにした研究成果を披露しました。

●●●「日本人女性は、単に色白であることだけでなくトラブルのない肌にあこがれを持っていて、『美白』は『美肌』を意味していることがわかりました」

▲▲▲「日本の若者言葉は、乱れていても結構面白いところがあります。うまく利用すれば、国際語として通用する可能性があるという結論になりました」

アンケートの分析は思った以上に大変で、最後は寝ずに仕上げるなど苦勞したようですが、どちらも日本人にとっては、斬新な発想で、興味深い研究発表でした。



授業については、「難しい言葉が出てきても、先生は理解しやすい日本語で説明してくれました。留学生が多い大学と違い、わからないことは先生にすぐ質問できてよかったです」と口をそろえます。整った学習環境を生かして熱心に勉強を続けた結果、2人とも、7月に受験した日本語能力試験(国際交流基金・日本国際教育支援協会共催)の最難関レ



Profile ●●●・●●●(左)スロベニア共和国出身。リュブリャナ大学文学部アプリカシア研究学科に在籍。
▲▲▲・▲▲▲(右)カザフスタン共和国出身。アルマティ外国語大学言語学部日本語学科に在籍。

ベル「N1」に合格しました。

卒業後は日本にかかわる仕事を

活躍の場は、授業だけでなく課外活動でもどんどん広がります。

▲▲▲「チューター(留学生をサポートする在 student)とは、今では「親友」と呼べるくらい仲良くなりました。彼女に誘われた有志のファッションショーにモデルとして出演するなど、貴重な体験をしました。また、途中からは一人暮らしや喫茶店でのアルバイトも始めました」

●●●「私は学内の英語教育センターで、幼稚園児や中学・高校生に英語を教えるアシスタントのアルバイトを経験しました。幼稚園の子どもたちはみんなかわいく、高校生ともいろんな話ができました。幅広い年代の方と話ができて楽しかったです」

課外活動でも、多くの方との出会いに恵まれたことで日本語の運用力も向上し、自信もついたそうです。

▲▲▲「将来はとにかく日本語を使う仕事がしたいです。できればファッション関係の仕事につきたいです」

●●●「大学を卒業したらできるだけ早く日本に戻って、日本で就職したいです。もし大学院に入ったとしても、奨学金制度を利用してまた日本に来たいです」

充実した学生生活を体験し、帰国する前から、すでに日本に関する仕事に就くことを決意している●●●さんと▲▲▲さん。将来はそれぞれの国と日本をつなぐ架け橋のような存在になってくれることでしょう。

※今年度も、グルジアから●●●さん、ベルギーから●●●さんが来日しました。現在、樟蔭生と一緒に授業に出ています。



● 皆様とのコミュニケーションスペース

2014年度入試より、大学の入試制度として「樟蔭ファミリー入試」がスタートしました。
大阪樟蔭女子大学(女子専門学校/別科/短期大学(部)/大学院を含む)の在学生や卒業生の4親等以内の親族の方が対象となる入試制度で、入学金の半額(14万円)が奨学金として支給されるなど特典がございます。該当される方はぜひご利用ください。(2014年度の樟蔭ファミリー入試は終了しました。)

2015年度入試の詳細については、[学園入試広報室\(TEL:06-6723-8274\)](mailto:shoin@osaka-shoin.ac.jp)へお問い合わせください。

Info.

大学入試制度に「樟蔭ファミリー入試」を新設しました。

2014年度 入試日程及び関連イベントについて

学園各校の平成26年度の入試日程及び関連イベントについて、ご紹介いたします。お近くに進学年齢を迎えた方がいらっしゃいましたら、ぜひ樟蔭への進学を薦めていただけますようお願い申し上げます。入試に関する詳細な情報を知りたい方や、願書や資料の送付を希望される方は下記の各担当窓口までお問い合わせください。

2014年度 入試日程			
	試験名	試験日	合格発表日
中学校	A入試※1	1月18日(土)	1月19日(日)
	B入試※1	1月19日(日)	1月20日(月)
	C入試※1		
	2次入試	1月22日(水)	1月23日(木)
高校	入試	2月10日(月) 学力試験 2月11日(火) 面接※2	2月12日(水)
	推薦入試B(専願・併願)※3	12月14日(土)	12月21日(土)
大学	一般入試AI	1月23日(木)・24日(金) (試験日自由選択制)	2月 1日(土)
	一般入試AII	2月 8日(土)	2月15日(土)
	一般入試AIII(センタープラス)※4		
	一般入試B	2月28日(金)	3月 8日(土)
	一般入試C	3月17日(月)	3月20日(木)
	大学入試センター試験利用入試A 大学入試センター試験利用入試B	本学独自の個別学力試験は実施しません。	2月15日(土) 3月 8日(土)
大学院	大学院(人間栄養学専攻)II期	2月15日(土)	2月20日(木)
	大学院(臨床心理学専攻)II期		
	大学院(化粧品ファッション学専攻)II期		

※1 身体表現コースのみ、道徳・実技審査があります。 ※2 専願者のみ。 ※3 健康栄養学科は実施しません。
※4 一般入試AIIを受験した者のみ出願可能です。

お問い合わせ先 ● 大学・大学院：学園入試広報室 TEL:06-6723-8274
● 中学校・高等学校：中高幼事務室 TEL:06-6723-8185

入試関連イベントのお知らせ

行事	日程	時間
入試対策講座(高校)	12月14日(土)	9:30-12:30
入試対策講座(中学校)		14:00-16:30
● 内容：入試説明、入試得点アップの秘けつなどをお教えます。		
お問い合わせ先 ● 会場：樟蔭中学校/樟蔭高等学校(東大阪市葦屋西4-2-26) 申込不要 ● お問い合わせ：中高幼事務室 TEL:06-6723-8185		

行事	日程	時間
ミニオープンキャンパス(小阪のみ:全学部対応)	12月21日(土)	13:30-16:00
● 内容：1・2年生対象 キャンパスを体感しながら、学科の学びについての相談などもいただけます。 当日はクリスマスパーティーも開催します!!		
一般入試対策講座(小阪のみ:全学部対応)	12月21日(土)	12:30-17:00
● 内容：一般入試のポイントや「英語」「国語」「生物」「化学」の対策講座と、個別相談も受け付けます。		
春のオープンキャンパス(小阪のみ:全学部対応)	3月29日(土)・30日(日)	10:00-15:00
● 内容：さまざまな学科体験企画や、模擬授業、学生や先生とお話できるスペースもご用意しております。		
お問い合わせ先 ● お問い合わせ：学園入試広報室 TEL:06-6723-8274 申込不要		

2017年の創立100周年に向けて 100周年記念事業がスタートしています

100周年記念事業推進委員会が発足!

創立100周年記念事業の内容や方向性について検討する「100周年記念事業推進委員会」が発足し、8月10日に第1回目の委員会が開催されました。委員会では、100周年記念事業の実施に際しての基本コンセプトや各種事業の方向性について検討されました。また第2回目の委員会では100周年ロゴマークや記念募金の概要が決定されました。その他「記念イベント実行委員会」や「記念誌編集委員会」もスタートし、それぞれの取り組みに関する検討がはじまっています。

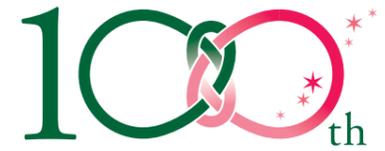
100周年記念事業推進委員会 構成員

- 委員長** 森眞太郎(樟蔭学園理事長)
- 委員** 杉田旬子(樟蔭同窓会会長)/井上絢子(樟友会会長)/中西達也(大学後援会会長)
井上佳昭(中学校・高校PTA会長)/米澤安恵(幼稚園保護者会会長)
徳永正直(大学学長)/楠野宣孝(中学校・高校校長)/山本光男(幼稚園園長)
打田良樹(大学副学長)/大江米次郎(大学副学長)/高木秀真(高校副校長)
永井利和(中学校・高校副校長)/阿部直美(幼稚園主任教諭)
前川文夫(100周年記念事業本部長)/高橋重樹(法人事務局長)
高田修(大学事務局長)/杉野博章(総務部長)/飼鳥嘉人(財務部長)
中村太一(管財部長)/桑幹夫(大学事務部長)
原野雅一(中高幼事務室事務長)/春木智仁(中高幼事務室課長)

100周年ロゴマークが決定!

樟蔭学園が100周年を向かえることを内外へアピールするとともに、100周年へ向けた意識の統合を図る100周年ロゴマークが記念事業推進委員会にて決定されました。

樟蔭学園は創立100周年



SHOIN GAKUEN
Established in 1917

日本の伝統工芸でもありお祝いの席では欠かせない「水引の結び」をモチーフにしたもので、日本的な伝統と、女性らしさを表現しています。また、深緑とサーモンピンクの色でループする輪は、深緑色は樟蔭の「伝統」を、サーモンピンクは「革新」に喩え、それらが互いに結びつき、繋がり、これから先も永続的かつ無限に広がり成長していく様子を表しています。ピンクの星は、将来へ向かってより一層輝きを増す、新しい価値を表現しています。

小阪キャンパスリニューアル工事が進行中

100周年記念事業の中でも特に大きな取り組みである小阪キャンパスのリニューアル工事が進行中です。現在は新体育館と10階建てのシンボル棟の建設工事が本格化しており、体育館は来年2月、シンボル棟は来年9月には完成予定です。このほか、年末からは5階建て新校舎棟の工事でも本格的にスタートします。



シンボル棟建設の様子



体育館建設の様子



完成後のキャンパスイメージ

100周年記念サイトとFacebookページが始動

100年におよぶ学園の歴史とともに、記念事業での取り組みを紹介するホームページが開設されました。同時に、100周年へ向けた学園の動きを紹介するFacebookも開設し、卒業生や保護者の皆さま、学園関係者の皆さまとの交流を図っていきたくと考えています。皆さま、ぜひアクセスしてみてくださいね。



100周年記念サイト
URL:<http://100th.osaka-shoin.ac.jp>



Facebookページ「100th SHOIN」
樟蔭ファミリー交流ページ
URL:<http://www.facebook.com/shoinfamily>

樟蔭同窓会より新体育館のステージ用絨帳をご寄贈

来年2月に新体育館が完成することを受けて、樟蔭同窓会から体育館のステージに使用する絨帳(どんちょう)をご寄贈いただけることになりました。これに先立って100周年記念事業への寄付金としてお預かりした金額と合わせて合計1,500万円のご寄付をいただきました。



大学後援会からクラブハウス建設費用へのご寄付

小阪キャンパスリニューアル事業に伴うクラブハウスの新築に對しまして、大学後援会にて1,400万円のご寄付をご決定いただき、学生のクラブ活動への厚いご支援をいただけることになりました。



記念事業募金へのご協力をお願い

樟蔭学園では、学園の創立100周年記念事業に必要な費用の一部について、広く皆さまからのご寄付を募っております。樟蔭学園が新たな100年間も理想的な女子教育の環境を維持できるよう、皆さまからのご協力をお願い申し上げます。詳しくは募金趣意書または100周年記念サイトをご確認ください。

募金趣意書のご請求は
100周年記念事業本部
TEL:06-6723-8152
E-mail:100th@osaka-shoin.ac.jp
100周年記念サイト
URL:<http://100th.osaka-shoin.ac.jp>

寄付金応募へのお礼

※平成25年4月1日～平成25年11月15日までに寄付いただいた方を掲載しています。以降につきましては、次回号に掲載予定です。

この度、皆様から寄付へのご応募を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。皆様からの温かいご支援を励みに、教職員一同で今後ともより良い学園づくりに努めて参ります。
[寄付者の芳名] (敬称略・順不同)

<p>【高額寄付者】</p> <p>団体・法人 樟蔭同窓会 樟蔭エンタープライズ(株)</p> <p>卒業生 北野 弘子 多木 和子 藤田 賞子 匿名 1名</p>	<p>【寄付者】</p> <p>卒業生 足立 光子 網野 康子 伊藤 昭子 楠瀬 順子</p> <p>興津由紀子 辰馬 价子 田中勢津子 寺川真美子 長尾 好子 中造智恵子</p> <p>野田 圭子 羽合由輝子 藤田 笑子 前川由美子 松岡マス子 三宅 芳子</p> <p>村西 禎子 元木 和美 森川 彌生 森田寿美子 山口佳月子 補田 淳子</p> <p>匿名 1名 大学 小林よう子 川崎 倫子 高力 英明 小西 朱美</p> <p>崎山 生陽 澤井喜代次 瀬尾 吉一 恵三 肌勢 和由 樋口 純子</p> <p>元教職員 前田 正人 山岡昭順 弓田浩司 匿名 1名</p> <p>次井 義泰 その他 中西 定子</p>
---	--

学園を支えてくださる皆様へ

樟蔭学園は、創立100周年という大きな節目に向かおうとしております。次世代にも誇れる学園として更なる飛躍を遂げるため、皆様からの温かいご支援をお願いいたしたく、寄付金にご協力くださいますようお願い申し上げます。寄付制度の詳細につきましては、100周年記念事業本部へお問い合わせください。

問い合わせ窓口

100周年記念事業本部
TEL:06-6723-8152
FAX:06-6723-8263

人事	退職	新規採用	異動
●大学/職員 辰巳 早苗(2013.7.31付) 村中 孝次(2013.10.31付) 岩田 明大(2013.11.30付)	●法人/職員 総務課課長代理 藤井 優(2013.12.1付)	●大学/職員 庶務課(小阪) 幸西 雄一郎(2013.11.1付)	学生支援課(関屋)・学術振興課(関屋)兼任 吉川 淳(2013.11.1付) ●学園/職員 入試広報室 瀧川 雅之(2013.12.1付)

学校法人樟蔭学園 平成24年度決算概要

平成24年度決算が、5月28日の理事会で承認されました。
 資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の概略を掲載し、併せて「学校法人会計の特徴」及び「財務比率」についても説明致します。
 なお、樟蔭学園のホームページにおいても、財務状況について開示しております。
http://www.osaka-shoin.ac.jp/open_info/finance.html からご確認ください。

(1) 資金収支計算書の概要

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位 千円)

収入の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
学生生徒等納付金収入	3,609,432	3,666,459	△ 57,027	△ 1.56%	☆
手数料収入	60,121	62,267	△ 2,146	△ 3.45%	☆
寄付金収入	33,899	40,419	△ 6,520	△ 16.13%	☆
補助金収入	706,314	718,736	△ 12,422	△ 1.73%	☆
資産運用収入	132,574	118,905	△ 13,669	△ 11.50%	☆
資産売却収入	300,363	1,484,972	△ 1,184,609	△ 79.77%	☆
事業収入	38,842	44,686	△ 5,844	△ 13.08%	☆
雑収入	229,152	198,188	△ 30,964	△ 15.62%	☆
借入金等収入	67,046	847,641	△ 780,595	△ 92.09%	※短期借入金
前受金収入	615,707	653,882	△ 38,175	△ 5.84%	
その他の収入	790,877	895,211	△ 104,334	△ 11.65%	
資金収入調整勘定	△ 849,636	△ 811,160	△ 38,476	△ 4.74%	
前年度繰越支払資金	1,417,364	1,135,721	△ 281,643	△ 24.80%	
収入の部合計	7,152,055	9,055,927	△ 1,903,872	△ 21.02%	
支出の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
人件費支出	3,334,866	3,786,114	△ 451,248	△ 11.92%	☆
教育研究経費支出	921,230	895,527	△ 25,703	△ 2.87%	☆
管理経費支出	348,236	358,543	△ 10,307	△ 2.87%	☆
借入金等利息支出	4,645	10,331	△ 5,686	△ 55.04%	
借入金等返済支出	134,106	1,614,701	△ 1,480,595	△ 91.69%	
施設関係支出	74,846	93,276	△ 18,430	△ 19.76%	※1
設備関係支出	59,117	85,873	△ 26,756	△ 31.16%	※2
資産運用支出	1,349,281	828,336	△ 520,945	△ 62.89%	
その他の支出	332,995	296,520	△ 36,475	△ 12.30%	
資金支出調整勘定	△ 364,889	△ 330,658	△ 34,231	△ 10.35%	
次年度繰越支払資金	957,622	1,417,364	△ 459,742	△ 32.44%	
支出の部合計	7,152,055	9,055,927	△ 1,903,872	△ 21.02%	

☆印は、消費収支計算書の概要を参照。

(2) 消費収支計算書の概要

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
学生生徒等納付金	3,609,432	3,666,459	△ 57,027	△ 1.56%	※1
手数料	60,121	62,267	△ 2,146	△ 3.45%	※2
寄付金	43,754	46,883	△ 3,129	△ 6.67%	※3
補助金	706,314	718,736	△ 12,422	△ 1.73%	※4
資産運用収入	132,574	118,905	△ 13,669	△ 11.50%	※5
資産売却差額	3	171,960	△ 171,957	△ 100.00%	
事業収入	38,842	44,686	△ 5,844	△ 13.08%	※6
雑収入	229,152	198,188	△ 30,964	△ 15.62%	※7
帰属収入合計	4,820,192	5,028,084	△ 207,892	△ 4.13%	
基本金組入額合計	△ 131,941	△ 137,360	△ 5,419	△ 3.95%	
消費収入の部合計	4,688,251	4,890,724	△ 202,473	△ 4.14%	
消費支出の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
人件費	3,248,452	3,729,311	△ 480,859	△ 12.89%	※8
教育研究経費	1,382,852	1,368,667	△ 14,185	△ 1.04%	※9
管理経費	388,484	402,387	△ 13,903	△ 3.46%	※10
借入金等利息	4,645	10,331	△ 5,686	△ 55.04%	
資産処分差額	1,404	234,485	△ 233,081	△ 99.40%	
徴収不能額	27,013	0	△ 27,013		
徴収不能引当金繰入額	1,494	1,058	△ 436	△ 41.21%	
消費支出の部合計	5,054,344	5,746,239	△ 691,895	△ 12.04%	
当年度消費収支超過額	△ 366,093	△ 855,515			
前年度繰越消費収支超過額	△ 6,485,551	△ 5,661,257			
基本金取崩額	58,140	31,221			
翌年度繰越消費収支超過額	△ 6,793,504	△ 6,485,551			

注記内容

※1 学生生徒数は前年度とほぼ同数で、納付金額も微増となったが、大阪府授業料支援補助金増額に伴う授業料軽減額の増額を主な理由とし、学生生徒等納付金全体としては減収。

※2 受験生は、幼稚園で若干の増となったが、大学・高校・中学校で減となり、手数料全体としては減収。

※3 任意寄付金及び現物寄贈が増収となったが、大学後援会及び高校・中学校PTAへの寄付金が減収となったことにより、寄付金全体としては減収。

注記内容

※1 本年度の主な施設充実
 小阪校地
 大学院人間科学研究科化粧ファッション学専攻開設に係る工事、老朽化空調機改修工事(1～6号棟・11号棟・13号棟・19～20号棟・大学寮) など。

※2 本年度の主な設備充実
 大学ポータルシステム関連(備品・ソフト)、大学食堂備品、事務システム(ハード)入替、高校・中学校出欠受付入力システム(ソフト)、大学入試システム(ソフト)、給与明細Web化関連ソフト など。

※4 補助金全体としては、経常費補助金及び大学教育・学生支援推進事業に係る補助金の減額を主な理由として減収。内訳は次のとおりである。

- 経常費補助金(特別補助金を含む)は減額。[10.69%減][大学13.61%減、短大100.00%減][高校4.57%減、中学校2.53%減、幼稚園1.60%増]
- 大学教育・学生支援推進事業に係る補助金。(申請なし)
- 私立学校施設高度化推進事業費補助金(利子助成)採択。
- 私立学校施設整備費補助金(アスベスト除去)採択。
- 大阪府私立高等学校がらばった学校支援補助金採択。
- 授業料支援等補助金は増額。[55.17%増][高校61.90%増、幼稚園2.55%減]

※5 為替の円安基調の下、資金の運用は若干の増収。

※6 受託研究などの受託事業収入が増収となったが、大学の寮生減に伴う寮費減収を主な理由として補助活動収入が大幅な減収となったため、事業収入全体としては減収。

※7 退職金財団加入の教職員の退職者増員に伴う交付金の増収を主な理由とし、雑収入全体としては増収。

※8 教職員の減員、賞与率見直しなどを主な理由とし、人件費全体としては減額。

※9 教育用機器のリース料(期間満了に伴う減)、大学教育・学生支援推進事業費、教育関係資産の減価償却額などが減額となったが、高校・中学校の奨学金の増、校舎耐震診断実施に伴う費用、大学ポータルシステム関連費用などを主な理由とし、全体としては増額。

※10 職員人事制度改革関連費用、人材紹介手数料、小阪キャンパスのインフラ現況調査及び各建物室内消費電力調査費用など増額となったが、学生生徒募集経費の減額、管理関係資産の減価償却額の減額などを主な理由とし、全体としては減額。

(3) 貸借対照表の概要

平成25年3月31日

(単位 千円)

資産の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
固定資産	18,944,900	20,100,435	△ 1,155,535	△ 5.75%	
有形固定資産	14,279,634	14,648,928	△ 369,294	△ 2.52%	※1
その他の固定資産	4,665,266	5,451,507	△ 786,241	△ 14.42%	※2
流動資産	2,884,830	2,092,402	△ 792,428	△ 37.87%	※3
資産の部合計	21,829,730	22,192,837	△ 363,107	△ 1.64%	

負債の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
固定負債	2,134,932	2,290,331	△ 155,399	△ 6.79%	※4
流動負債	1,242,856	1,216,412	△ 26,444	△ 2.17%	※5
負債の部合計	3,377,788	3,506,743	△ 128,955	△ 3.68%	

基本金の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
第1号基本金	24,759,446	24,685,645	△ 73,801	△ 0.30%	※6
第4号基本金	486,000	486,000	0	0.00%	
基本金の部合計	25,245,446	25,171,645	△ 73,801	△ 0.29%	

消費収支差額の部					
科目	平成24年度	平成23年度	増減	増減率(%)	備考
翌年度繰越消費収支超過額	△ 6,793,504	△ 6,485,551	△ 307,953	△ 4.75%	
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計	21,829,730	22,192,837	△ 363,107	△ 1.64%	

減価償却額の累計額の合計額	10,680,720	10,327,473	△ 353,247	△ 3.42%	
基本金未組入額	99,736	179,797	△ 80,061	△ 44.53%	

(4) 学校法人会計の特徴

学校法人の決算書は「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の3つの財務諸表で構成されています。

資金収支計算書は、当該会計年度(4月1日～3月31日)の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにします。

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入と消費支出(正味財産の増と減)の内容及び両者の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表します。企業会計の損益計算書の目的に類似した計算書となっています。消費収入は、当該会計年度の帰属収入(学校法人に帰属する、負債とならぬ収入をいう。)を計算し、その額から固定資産を取得するための支出や積立金などで構成される基本金組入額を控除して計算します。消費支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計算します。そして、当該会計年度の収支の均衡状態は、当年度消費収支超過額で表します。

貸借対照は、学校法人の資産・負債・正味財産(基本金+消費収支差

額)を把握し、財政状態を明らかにした、長期的な運営の方向性を決めるための財務諸表です。資金収支計算書と消費収支計算書が単年度ごとの状況を表す一方、貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。企業会計と同じく、借方に資産、貸方に負債を計上します。貸方に「基本金の部」を計上するなどの違いはありますが、企業会計の貸借対照表と構造は似ています。

学校法人の収支状況を見るには、消費収支計算書の帰属収支差額に注目します。

帰属収支差額とは、帰属収入から消費支出を差し引いたもので、企業会計でいう収益から費用を差し引いた利益に相当するものであります。

しかし、学校法人は一般の企業に比べ極めて公共性が高く、安定的な経営を維持して行く必要があるため、この利益は利潤ではなく、学校の施設設備等の取得財源や借入金の返済財源となるものです。つまり、帰属収支差額によって、当該年度の施設設備等の充実、借入金返済、将来の施設設備の更新等のための引当特定資産等の充実が行

注記内容

※1 減額の主な理由
 減価償却資産の減価償却及び耐用年数経過による取崩し。

※2 減額の主な理由
 減価償却引当特定資産への繰入基準の変更に伴う取崩し及び有価証券(固定)の期限前償還による減額。

※3 増額の主な理由
 有価証券(流動)の増額。

※4 減額の主な理由
 返済期限が1年以内の長期借入金を短期借入に振替及び退職給与引当金の減額。

※5 増額の主な理由
 未払金、預り金の増額。

※6 増額の主な理由
 本年度の施設設備の充実及び過年度未組入に係る当期組入による増額。

われることとなります。

そして、学校法人会計基準は、その財源(学校法人を継続的に維持すべき財源)に充当すべき額を基本金とし、消費支出に充てる前の帰属収入のうちから控除して組入れる(確保すること)となっています。

帰属収支差額がプラスの場合は、当該年度において自己資金が確保されていることを表し、マイナスの場合は、帰属収入で消費支出を賄えない状態であり、基本的には過年度において蓄積された自己資金を食い潰すか、借金をしな限り経営が成り立たないことを示しています。

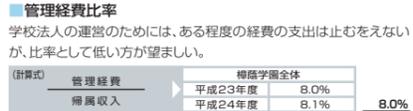
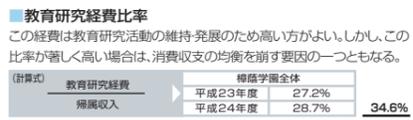
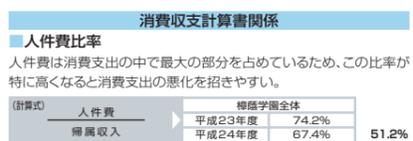
ただ、収支状況は単年度のみを見るだけでは判断出来ませんので、過去数年間の傾向や今後の収支の予測を考慮する必要があります。

一般の企業の経営が利益追求を目的としているのに対して、学校法人の経営は長期安定的に教育・研究活動を継続することに主眼がおかれています。学校法人の財務諸表は、学校が、教育・研究活動の質的向上を図りながら、いかに安定的な余裕資金を維持し、資産を形成しているかという視点で見ることが重要であります。

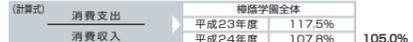
学校法人樟蔭学園の平成23年度及び平成24年度の財務比率

※表欄外の下線付きの数字は、日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」の平成23年度全国大学法人規模比率を示します。

※自己資金＝基本金+消費収支差額 ※総資金＝負債+基本金+消費収支差額 ※運用資産＝その他の固定資産+流動資産 ※外部負債＝総負債－(退職給与引当金+前受金)



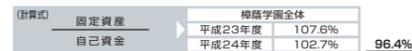
消費収支比率
 この比率が100%を超える、消費支出が消費収入を上回る消費支出超過(赤字)となり、100%未満であると消費収入超過(黒字)となる。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、消費収支を黒字にして資金蓄積を図ることを計画するならば、低い値ほど目的に達することになる。



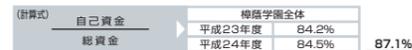
貸借対照表関係

固定比率
 固定資産の自己資金に対する割合で、固定資産にどの程度自己資金が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる比

率である。低い方が望ましい。固定資産に投下した資金の回収は長期間にわたるため、本来投下資金は返済する必要のない自己資金を充てることが望ましい。しかし、現実的には大規模設備投資の際には、外部資金の導入をせざるをえない場合が多いため、この比率が100%を超えることは少ない。このような場合は、固定長期適合率も利用して判断する必要がある。



自己資金構成比率
 自己資金の総資金に占める構成割合である。この比率は、学校法人の資金の調達源泉を分析する上で、最も総合的で重要な指標である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。



内部留保資産比率
 その他の固定資産(各種引当資産や長期有価証券など)と流動資産(現金預金や短期有価証券など)を合計した運用資産から総負債を引いた金額の総資産に占める割合である。

この比率は、有形固定資産以外の資産から総負債を引いた金額が、資産規模に比べてどのくらいあるかを評価する指標である。この比率がプラスであると、その他の固定資産と流動資産で負債総額を全て充当することができ、結果として有形固定資産は自己資金で調達されていることを意味している。プラス幅が大きいほどその他の固定資産と流動資産の合計した運用資産の蓄積度が大きい。一方、この比率がマイナスの場合は、貯蓄された運用資産より総負債が上回っており、財政上の余裕度が少ないことを表している。



運用資産余裕比率

貸借対照表上のその他の固定資産と流動資産を合計した運用資産から、総負債のうち退職給与引当金と前受金を除いた外部負債を引いた金額が、消費収支計算上の消費支出の何倍かを示す比率である。この比率は、総資産のうち各種引当資産、有価証券、現金預金などの運用可能資産から、総負債のうち外部に返済を迫られる借入金、学校債、未払金などの外部負債を差し引いた金額が、法人の一年間の支出規模に対してどの程度蓄積

リレー★コラム

Column 05

ダンドリ上手になるための
クリティカルパス分析

高校 谷口宏 先生



問題です。
ある日、帰宅した谷口さんは、あまりにもお腹が空いていたので、食パンを3枚焼いて食べることにしました。谷口さんちのトースターには食パンを2枚入れることができますが、一度に片面しか焼けません。一刻も早く空腹を満たしたい谷口さんに代わって、3枚の食パンを一番早く焼く方法を考えてください。

3枚の食パン(仮にA、B、Cとします)を焼こうとすると

- ①AとBをトーストに入れて焼く(1分)
- ②ひっくり返して裏側を焼く(1分)
- ③AとBを取り出しCを入れて焼く(1分)
- ④Cをひっくり返す(1分)

全体で4分かかって焼いています。しかし、よく調べると能率の悪いところがありますね。では少しやり方を変えるとどうなります? 何品ものメニューが並ぶような晩ごはんを準備するときには、ダンドリの上手・

下手で大差が生まれます。ここで気をつけなければいけないのは、作業を進めていくうえで、一つの順序でしか進められないようなものと、作業をする順番を選ぶことができるものがある、ということです。例えば、お風呂に入るときに、次のどちらかが選べます。

- A)服を脱いでから、お風呂にお湯を入れはじめる
- B)お風呂にお湯を入れはじめてから、服を脱ぐ

Aを選んだからといって大惨事が起きるわけではありません。入浴時間が少し遅れ、裸になったまま、待たされるだけのことです。服を脱ぐことと浴槽にお湯を入れることのあいだに「従属関係がない」ので、「並列的」に実行できますよね。この「逐次的」な仕事と「並列的」にできる仕事を、キッチンとより分けるところに家事

たにくちひろし
●高校教諭
数学科 担当
和歌山県生まれ。1989年より樟蔭高等学校で勤務。現在は釣りに凝っている。



の真髓があります。このような合理的なダンドリのスケジュールを作成する研究を「クリティカルパス分析」と呼んでいます。夕食の準備よりももっとスケールを広げてみれば、どの産業分野にも、プロジェクト・マネージャーがクリティカルパス分析を駆使しています。しかし、たとえ規模が大きくなっても、基本的には同じで、その際に重要な部分を占めているのは、「逐次的」な作業と「並列的」な作業の切り分けなのです。女性には特に毛嫌いされがちな数学ですが、このような数学的な思考ができると、暮らしの中の無駄が省け、きっとダンドリ上手になれますよ。



STAFF @ SHOIN 05

岡田麻友子 さん

大阪樟蔭女子大学
学生相談室 カウンセラー(小阪・関屋キャンパス)

おかだまゆこ ●奈良県出身。臨床心理士。2008年から大阪樟蔭女子大学に勤務。趣味は読書、映画鑑賞、旅行など。最近読んで面白かった本は、いしいしんじの「ある一日」。



学生さんを優しくサポート
長い目であなたかく見守りたい

受け止めます。時には履修登録や進路の相談にくる学生もいます。が、決して軽くあしらったりせず目的の課にたどり着けるまで、きちんと見届けます。深い悩みを抱えて4年間通い続ける人や、「ちょっと聞いてください!」と気軽に相談室に来る学生もいます。うまく言葉にできない時は、面談室の箱庭や画用紙を使って気持ちを整理しながら伝える方法もありますし、併設の休憩室では、誰かと一緒に弁当を食べたり、一人で静かに過ごすこともできます。「大学生は、初めての一人暮らしで不安になったり、将来について考えたり、大人になっていく中で苦しいことが出てくる時期。気軽に相談室に来て、思っていることを聞かせてほしいです」

また、岡田さんが大事にしていることは、悩みに対する答えを急がないこと。「すぐに元気になってもらえるのはうれしいことですが、その時だけ元気になればいいというものでもありません。学生さんがこれからの長い人生で自分の個性を生かしていける方法を一緒に考えていきたいです」

「学校に来るのがしんどい」「人と話す時に緊張してしまう」「自分の性格を変えたい」……。学生の悩みは十人十色ですが、岡田さんをはじめ学生相談室のカウンセラーはどんな小さなことでも優しく

